

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
34122	消防水利整備事業	消防署	施設係	林 国久	根橋 巻博	
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線) 2601		
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分	予算コード		事業名(歳出予算見積書)		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0902		非常備消防事業		
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ		#N/A			
	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり		
	節	(コード選択)	4節	安心な生活環境の創出		
	項[基本施策]	(コード選択)	1項	災害に強いまちづくり		
関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間		(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

地域住民・消防団員・自主防災組織

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういった状態にしたいのですか。

消防水利の充実により、町民の生命・身体及び財産を火災等の災害から保護する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	区からの要望を把握し、消火栓の新設・改良・移転を行い、地元分担金、一般財源で事業実施。
2	区からの要望を把握し、防火水槽の新設を行い、地元分担金、一般財源で事業実施。
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)		
①	指標名	消火栓の要望箇所		基	4	5	4	1.25	4
	説明	区から消火栓新設・改良・移転要望箇所		目標値設定の根拠	平成22年度と同数を見込む				
②	指標名	耐震性防火水槽新設要望箇所		基	0	0	6	0.00	6
	説明	区から耐震性防火水槽新設要望箇所		目標値設定の根拠	零細事業の補助率により実施				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)		
①	指標名	消火栓新設・改良・移転		基	5	0	4	0.00	4
	説明	消火栓新設・改良・移転数		目標値設定の根拠	国庫補助及び消防施設整備事業債により実施				
②	指標名	耐震性防火水槽新設		基	0	0	7	0.00	7
	説明	耐震性防火水槽新設数		目標値設定の根拠	国庫補助の配分方針により4基以上の設置がないと補助をうけられないため、3年毎(平成23年度6基→平成24年度実施)実施見込む				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み
		9,041	42,325	39,634
対前年比	%		468.2	93.6
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		757	32,591	25,017
B)一般財源(税金)		8,284	9,734	14,617
①事業費	(千円)	2,053	35,836	33,236
対前年比	%		1745.5	92.7
②人件費の概算	(千円)	6,988	6,489	6,398
対前年比	%		92.9	98.6
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
臨時職員		0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

要望により職員が現地確認。現地調査は、地元関係者(区・地主・耕地等)立会で話しを進める。また、不定期に消防署で警防調査(水利状況)を行い今後予想される消火困難地域の対応を検討し、関係地区等を調査実施。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

町民の生命・財産を災害から保護するため今後も継続する。要望等ある区との調整及び関係機関と話しを進め最善の方向を模索し、実施年度に向け事業を進める。平成24年度水利が悪い6箇所と羽場国道拡幅工事に伴う防火水槽・消火栓各1基の移転を実施予定。

24年度予算見積書への反映 あり なし

〔反映内容〕
 要望箇所の把握と必要性

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

平成23年度は、防火水槽6基予定したが、震災のため国の補助がつかず見送られた。そのため、平成24年度実施予定。消火栓については、新設・改良を5基実施、今後も実施計画に基づき継続したい。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

➡ 上記 a~e を選択